Gunma Prefecture 群馬県

令和８年11月26日
総務部
統計課 加工統計係
電話：027-226-2404　内線：2414

群馬県鉱工業指数
令和８年９月分

１．公表内容

９月の鉱工業生産指数（季節調整済）は、化学工業、電気機械工業などが低下したことから、２か月ぶりのマイナスとなった。

○概況
生産、在庫は低下、出荷は上昇で推移

◆９月の主な数値の動向（調査産業計）　（令和2年＝100）

	季節調整済指数			原　指　数		
	総合指数	前月比(%)		総合指数	前年同月比(%)	
生　産	１０２．１	▲ １６．６	２か月ぶり －	１１７．１	▲ １４．３	２か月ぶり －
出　荷	１０８．４	６．９	２か月連続 ＋	１０９．７	９．７	４か月連続 ＋
在　庫	１７０．６	▲ １１．１	２か月ぶり －	１７４．５	▲ ８．１	18か月ぶり －
在庫率	１６５．９	▲ １１．９		１４８．６	▲ ６．５	

○生産指数は、季節調整済指数で、2か月ぶりのマイナス、原指数で、2か月ぶりのマイナスとなった。

○出荷指数は、季節調整済指数で、2か月連続のプラス、原指数で、4か月連続のプラスとなった。

○在庫指数は、季節調整済指数で、2か月ぶりのマイナス、原指数で、18か月ぶりのマイナスとなった。

○総合指数前月比の伸び率（上昇又は低下）に影響を与えた主な業種　（）内は前月比
＜生産＞低下:化学工業（▲ 55.0 %）、電気機械工業（▲ 5.3 %）
＜出荷＞上昇:輸送機械工業（7.5 %）、業務用機械工業（134.6 %）
＜在庫＞低下:化学工業（▲ 19.5 %）、輸送機械工業（▲ 19.2 %）

○前月比が最も大きかった業種
＜生産＞上昇:業務用機械工業（157.7%）／ 低下:化学工業（▲ 55.0%）
＜出荷＞上昇:業務用機械工業（134.6%）／ 低下:家具製品工業（▲ 19.1%）
＜在庫＞上昇:情報通信機械工業（49.4%）／ 低下:化学工業（▲ 19.5%）

２．事業の概要

【目的】
県内の鉱業、製造業等の事業所における生産量、出荷量、在庫量の動態を調査し、指数化することにより、県内の産業活動の状況を総合的に把握し、景気動向の分析等のための基礎資料とする。

【作成方法】
令和２年（２０２０年）を基準年として、その鉱工業製品の１か月当たりの平均生産量、出荷量、在庫量を算出し、各品目の基準時ウェイトで加重平均して指数化する。

【各指数の品目数】
・生産指数・・・１７１品目
・出荷指数・・・１６４品目
・在庫指数・・・・９１品目
・在庫率指数・・・８４品目

≪参考事項≫
・季節調整済指数…１年を周期として季節が要因となり起こる変動(季節変動)を取り除いた指数をいう。
・原指数…季節調整をしていない指数をいう。

３．次回公表予定

令和８年12月末（令和８年10月分）

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

令和8年9月分

○総合指数前月比の伸び率に影響を与えた主な業種・品目

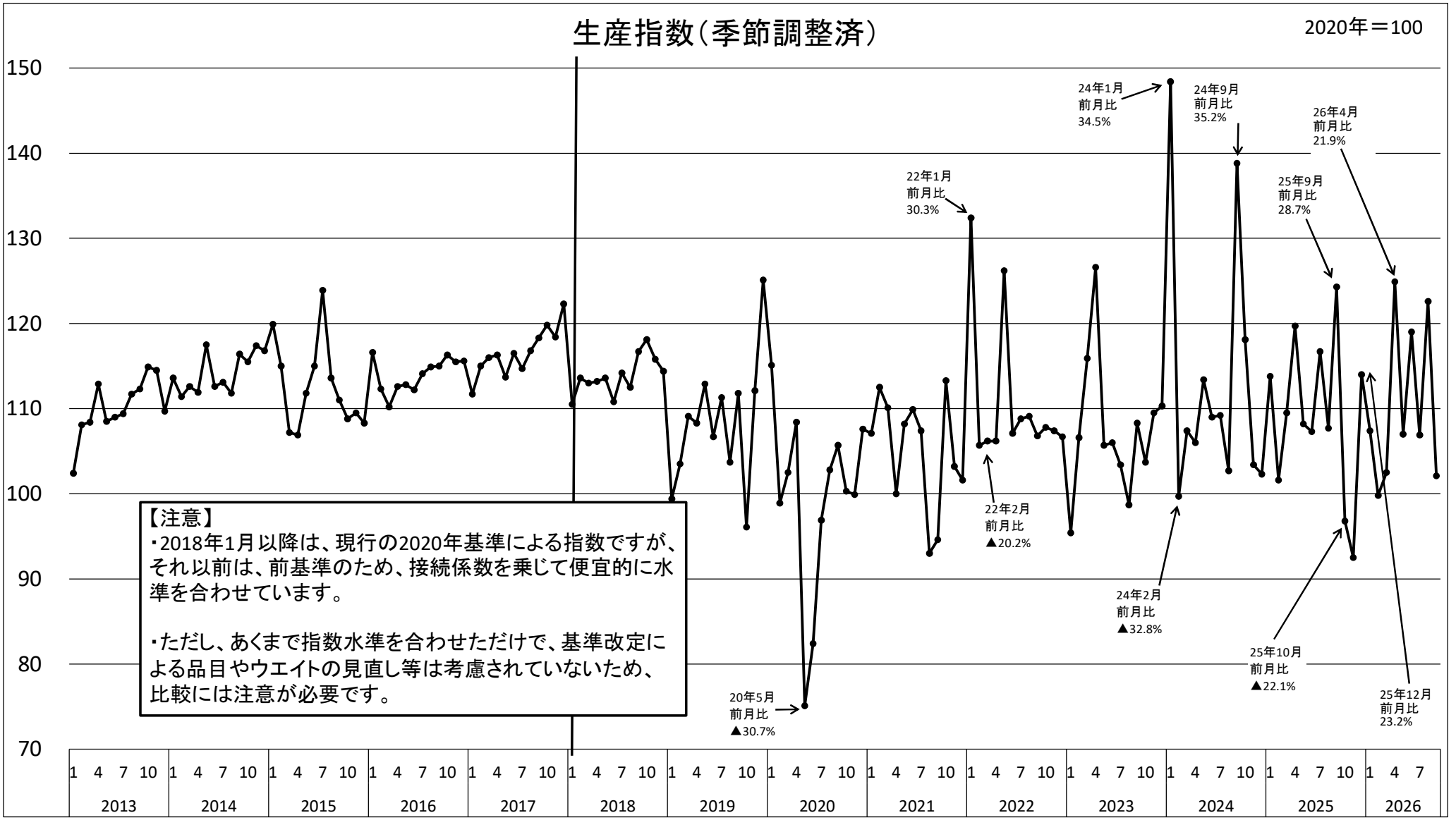
		業　　種	前月比寄与度	前月比%	寄与した主な品目	
生産	上昇	輸送機械工業	1.9	9.6	普通乗用車	自動変速装置
		業務用機械工業	1.8	157.7	娯楽機器	
	低下	化学工業	▲ 12.4	▲ 55.0	医薬品製剤	
		電気機械工業	▲ 0.6	▲ 5.3	半導体・IC測定器	
出荷	上昇	輸送機械工業	2.6	7.5	普通乗用車	自動変速装置
		業務用機械工業	2.1	134.6	娯楽機器	
		食料品工業	0.8	5.3	清涼飲料	めん類
		化学工業	0.5	5.6	医薬品製剤	
	低下	電気機械工業	▲ 0.2	▲ 2.5	半導体・IC測定器	
		生産用機械工業	▲ 0.1	▲ 3.8	整地機械	研削盤
在庫	上昇	汎用機械工業	0.3	2.9	コンデンシングユニット（7．5kW以上）	ショーケース冷凍機内蔵型
		金属製品工業	0.3	15.2	飲料用アルミニウム缶	スチール・ステンレス製建具
	低下	化学工業	▲ 11.3	▲ 19.5	医薬品製剤	
		輸送機械工業	▲ 0.1	▲ 19.2	普通乗用車	

（注）寄与した主な業種・品目の掲載順序は、上昇、低下とも寄与の大きい順である。一部秘匿あり。

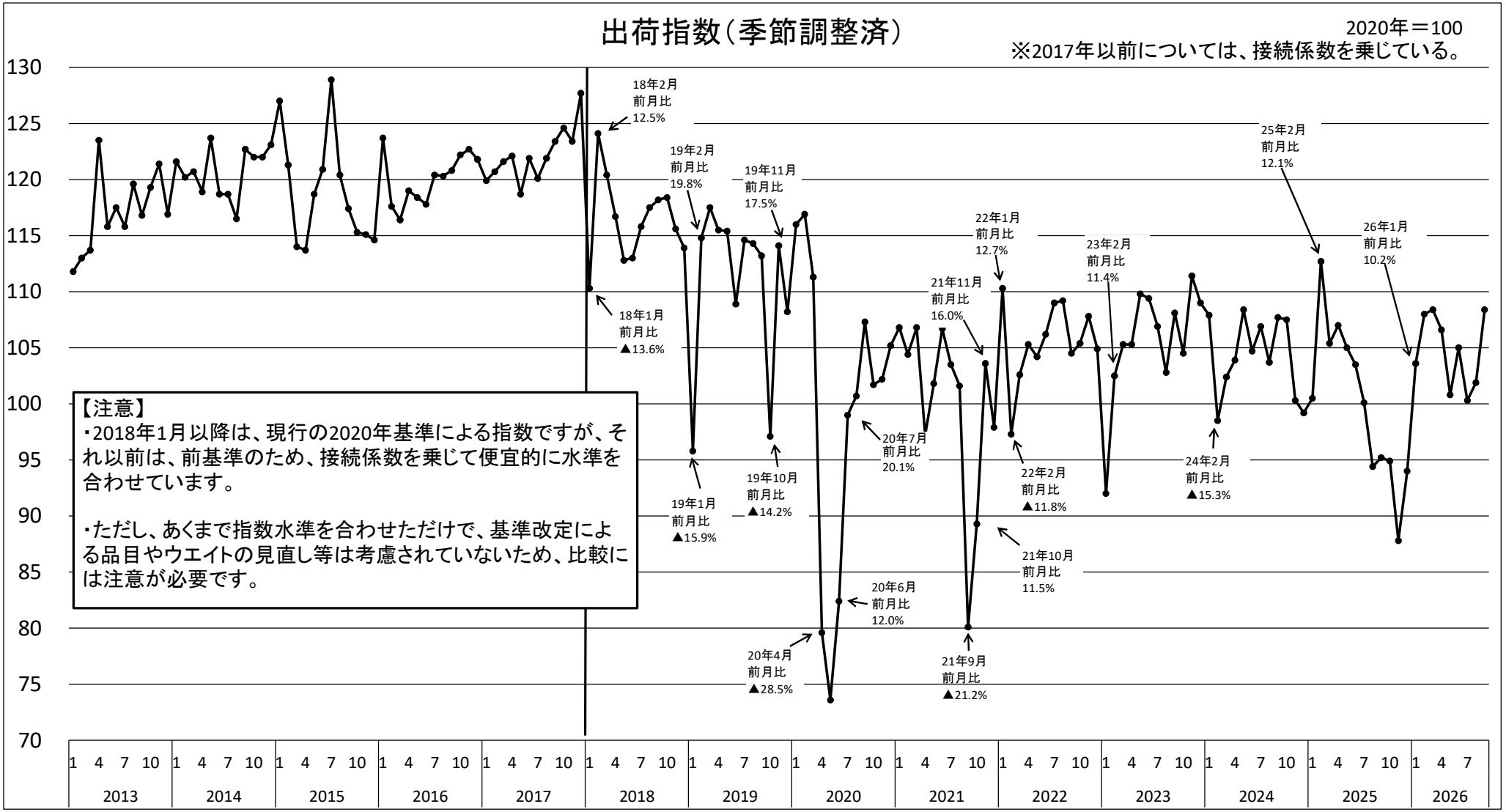
○前月比が最も大きかった業種

		業　　種	前月比寄与度	前月比%	寄与した主な品目
生産	上昇	業務用機械工業	1.8	157.7	娯楽機器
	低下	化学工業	▲ 12.4	▲ 55.0	医薬品製剤
出荷	上昇	業務用機械工業	2.1	134.6	娯楽機器
	低下	家具製品工業	▲ 0.0	▲ 19.1	製材
在庫	上昇	情報通信機械工業	0.2	49.4	ボタン電話装置
	低下	化学工業	▲ 11.3	▲ 19.5	医薬品製剤

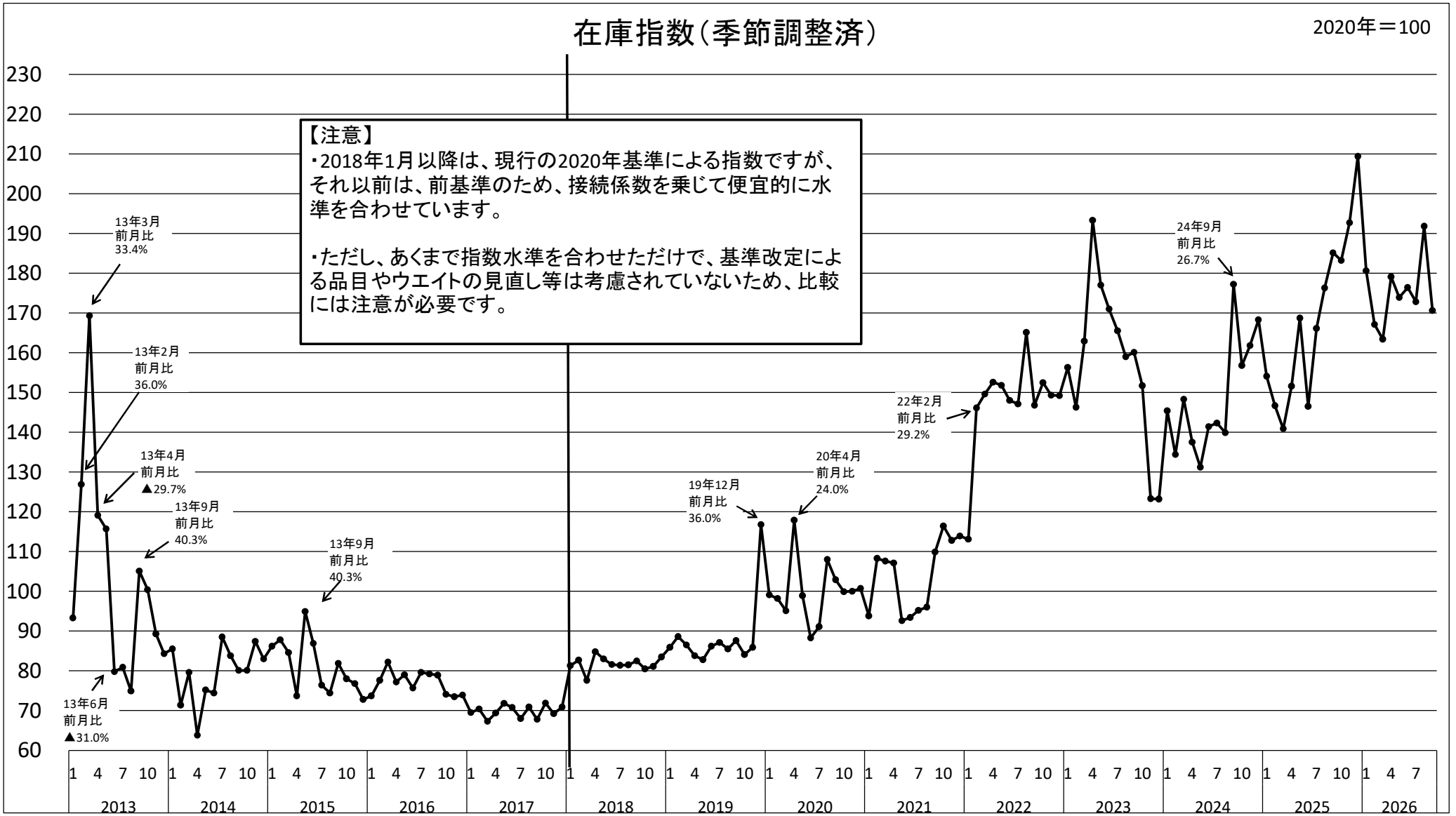
○群馬県鉱工業指数の動き



2015年基準：2013年～2017年　2020年基準：2018年～2022年　2025年基準：2023年～2027年（予定）
※2023年以降の指数については、2025年基準改定（2028年度頃実施予定）の際に、2025年基準で遡及して再計算する予定です。2025年の基準改定までは、2020年基準による指数を作成します。



2015年基準：2013年～2017年　2020年基準：2018年～2022年　2025年基準：2023年～2027年（予定）
※2023年以降の指数については、2025年基準改定（2028年度頃実施予定）の際に、2025年基準で遡及して再計算する予定です。2025年の基準改定までは、2020年基準による指数を作成します。

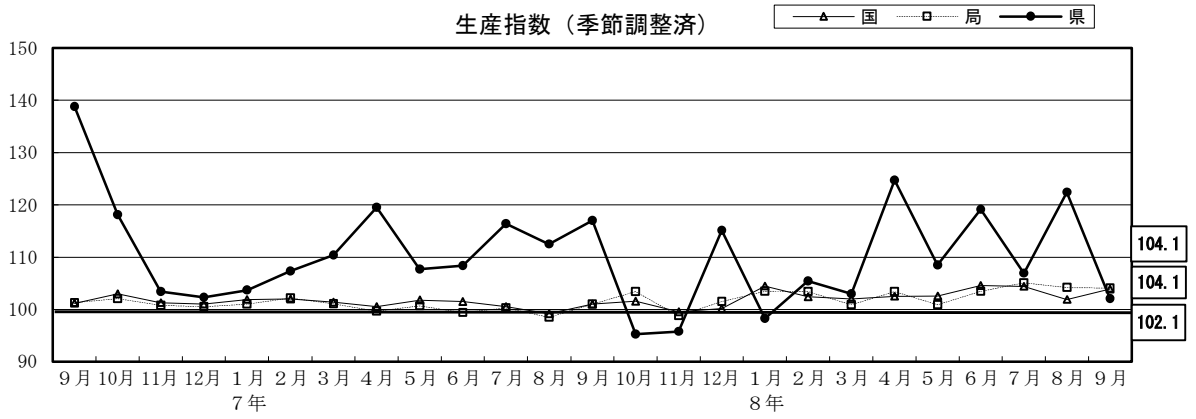


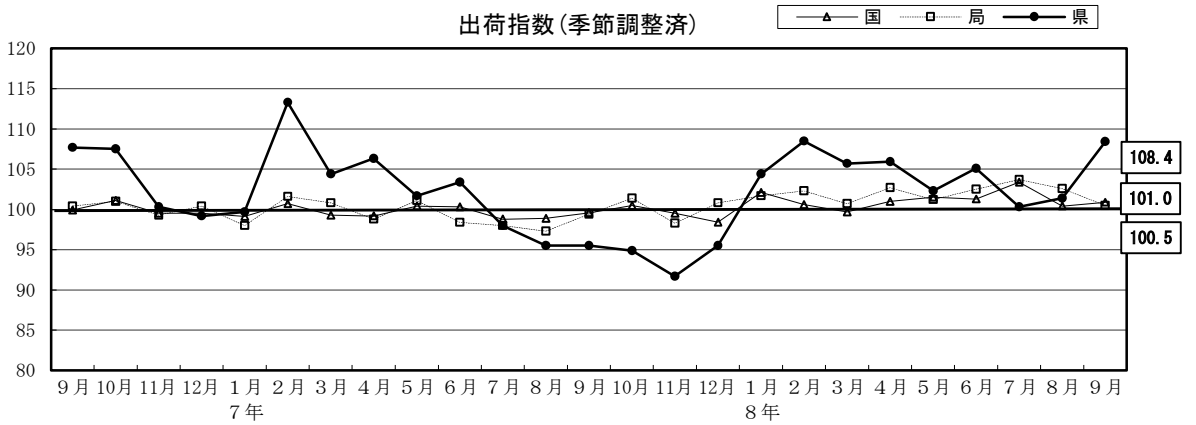
2015年基準：2013年～2017年　2020年基準：2018年～2022年　2025年基準：2023年～2027年（予定）

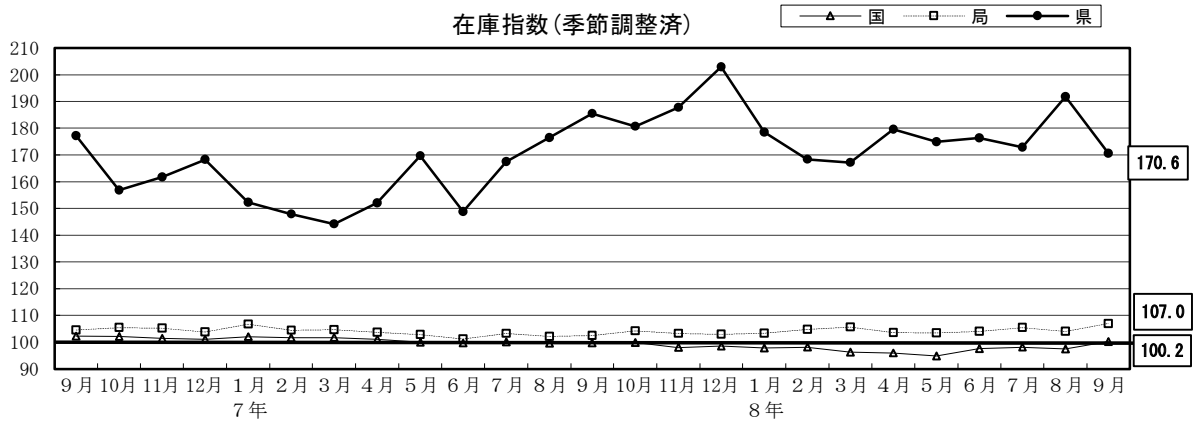
※2023年以降の指数については、2025年基準改定（2028年度頃実施予定）の際に、2025年基準で遡及して再計算する予定です。2025年の基準改定までは、2020年基準による指数を作成します。

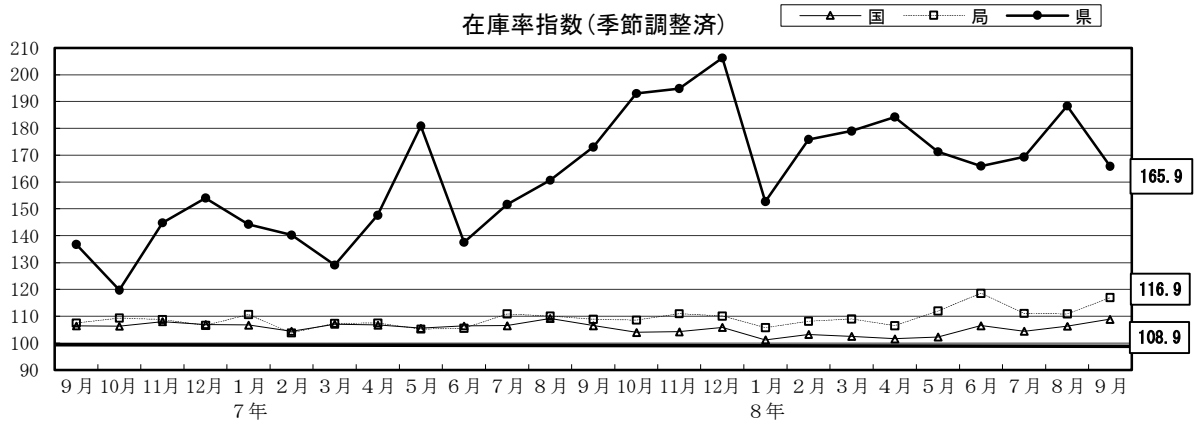
○　全国・関東経済産業局との比較

R2年＝100

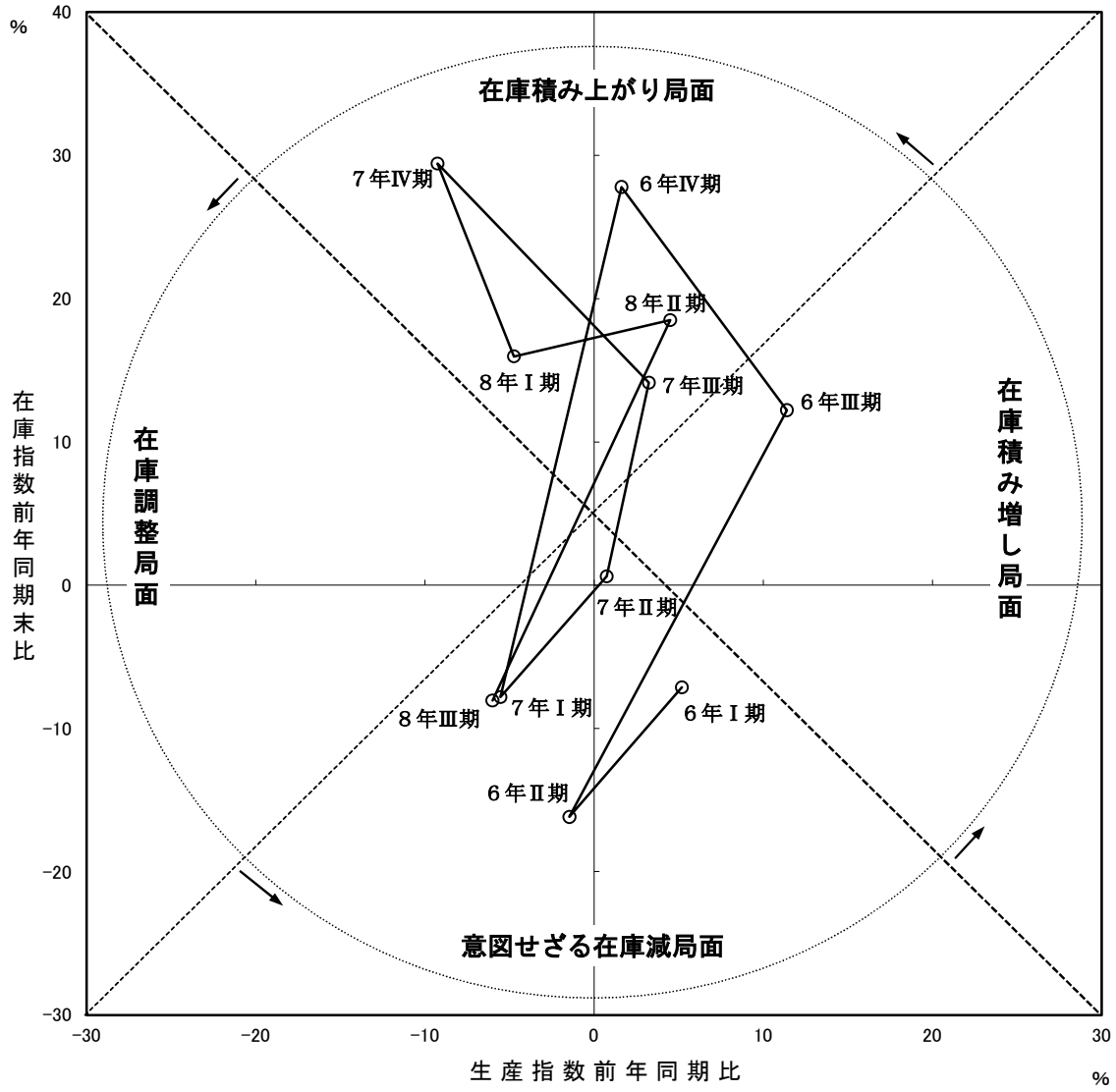








○　在庫循環図



意図せざる在庫減局面 （景気拡大初期）	需要が回復し、出荷が増加し始めるが、生産は停滞しており、在庫は減少する。
在庫積み増し局面 （景気拡大期）	生産、出荷ともに好調に推移し、減少していた在庫も積み増しされる。
在庫積み上がり局面 （景気後退初期）	生産に比べ、出荷が減少し始め、在庫が積み上がる。
在庫調整局面 （景気後退期）	生産を調整することによって、在庫が減少する。